

通学路の緊急合同点検に関するQ&A

No.	内容	Q(質問)	A(回答)
1	調査対象	国立大学附属学校や私立学校は報告が必須ではないと考えてよいのか。	報告の必要はありません。合同点検を実施する場合は、当該学校の所在する市町村教育委員会に相談の上、実施してください。
2	チェックリスト	合同点検の実施要領に添付されている「通学路点検時のチェックリスト(イメージ)」は必ず使用する必要があるのか。	「通学路点検時のチェックリスト(イメージ)」は、防犯の観点で点検する際の視点として参考にしていただくもので、地域の実情に応じて御活用下さい。
3	チェックリスト	合同点検の実施要領に添付されている「通学路点検時のチェックリスト(イメージ)」は詳細な内容となっており、「多い」、「少ない」などのチェック欄があるが、どのような基準で多少を判断すればよいのか。	必要に応じてチェックリストの補足事項欄も活用して、地域の事情に応じて判断をしてください。なお、必ずしも補足事項欄を活用する必要はありませんので、様々な視点、環境を考慮して危険箇所の判断をしてください。
4	合同点検	交通安全など他の観点の合同点検と合わせて実施してもよいのか。	防犯の観点による通学路の点検が十分に実施できるのであれば、他の観点の合同点検と合わせて実施することは差し支えありません。
5	合同点検	合同点検に参加する関係機関は、実施要領に記載された関係機関すべて参加させる必要があるのか。	すべての関係機関が参加する必要はありません。危険箇所に応じて必要な関係機関に参加を要請して合同点検を実施してください。
6	合同点検	本年度、今回の依頼による合同点検の前に、すでに防犯の観点による合同点検を実施済だが、再度、合同点検を実施する必要があるのか。	本年度、すでに関係機関等が合同で通学路の点検等を実施している場合には、その実施内容や状況等に応じて、その結果をもって合同点検及び対策の必要な箇所の抽出に代えることができます。
7	合同点検	点検対象となる通学路とはどの範囲なのか。	学校等で設定している通学路だけでなく、自宅から学校に至る通学のための経路が対象となります。
8	合同点検	学校・保護者等により抽出されたすべての危険箇所に対して、合同点検を実施しなければならないのか。	すべての危険箇所に対して合同点検を実施する必要はありません。学校・保護者等により抽出された危険箇所のうち、対策に複数の関係者との確認・協議が必要な箇所について合同点検を実施してください。
9	合同点検	特別支援学校等で、全生徒が保護者の送迎やスクールバスで通学しており、通学路がない場合でも合同点検を実施する必要があるのか。	必要ありません。「実施していない学校」として回答してください。
10	報告様式	合同点検の実施状況について、10月9日(火)までの報告となっているが、どこまでの段階の報告が必要なのか。	報告は、最低限、実施要領の「4. 実施内容」の「(2) 合同点検の実施及び対策が必要な箇所の抽出」の項目が終了した時点を想定していますが、様式に記載された、想定される対策まで回答してください。なお、(3)以降、対応が進んでいるのであれば、その時点での内容も含めて報告してください。
11	報告様式	様式1-1の問4の回答のうち、「1 ボランティア等による見守り活動の強化」は、教育委員会主催のものに限られるのか。	ボランティア等による見守り活動の強化については、様々な実施主体が考えられるため、教育委員会主催以外のものも含めて回答してください。

12	防犯カメラ	「防犯カメラの必要設置台数」の回答について	防犯カメラの必要設置台数については、現実的に設置できる場所、設置後の維持管理が可能であること等を考慮した数を回答してください。（現時点で合意する必要はないが、明らかに住民からの合意が得られない、設置後の維持費に関する予算等が全く確保できない等の場合は回答に含めないでください）※「「登下校時における児童生徒等の安全確保について（依頼）」に関する報告様式等について」（事務連絡平成30年7月31日）で添付した留意事項を参考にしてください。
13	防犯カメラ	通学路の防犯カメラは教育委員会が設置・管理することが念頭に置かれているのか。	「通学路における緊急合同点検報告要領」にも、「各自治体において、最も適切な設置・管理者を検討し、今後自治体の負担によって管理・運用する見通しを立てていること」とあるとおり、必ずしも教育委員会に限定しているものではありません。関係者間で協議し、最も適切な設置・管理者を検討していただくものと考えています。